

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○労働環境の充実

労働環境対策事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者等

意図 労働問題への啓発を図るとともに、各種セミナー・相談などを通して就労支援を図るため。

効果 勤労者等の労働環境の向上及び就労促進

【 事業の内容 】

- ・ 労働需要調査を行い、基礎資料を得るとともに労働問題への啓発を図った。
- ・ 求職者等に向けた就労支援事業を行った。
- ・ 勤労者等に向けた労働相談等事業を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,721	12,721	3,583		9,138
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節	消耗品費		52	22
13節	就労困難若年者支援業務委託料		495	495
	就労困難若年者家族カウンセリング業務委託料		396	396
	メンタルヘルスカウンセリング業務委託料		159	111
	労働相談業務委託料		330	330
19節	湘南合同就職面接会実行委員会負担金		115	115
	協働事業負担金(働くまち鎌倉推進～キャリアのセカンドステップ～)		330	330
	生涯現役促進地域連携鎌倉協議会負担金		10,844	1,784
<主な特定財源>				
	・国県支出金			165

勤労者福利厚生事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 勤労者福祉
施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 勤労者のために融資預託、その他の支援を行うため。

効果 勤労者の生活環境の向上及び福祉増進

【 事業の内容 】

- ・ 勤労者退職金共済機構等との新規契約者に掛金の一部を補助した。
- ・ 福利厚生事業を行う団体等に補助金を交付した。
- ・ 市内に居住、勤務している勤労者の生活の安定と福利厚生を増進を図るため、勤労者生活資金融資を実施する中央労働金庫に資金を預託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31,313	30,863	30,742		121
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
19節 中小企業退職金共済掛金補助金			300	179
三浦半島地域労働者福祉協議会補助金			530	530
県駐労福祉センター運営費補助金			33	33
労働祭補助金			300	0
鎌倉地区勤労者体育大会補助金			150	0
21節 中央労働金庫預託金			30,000	30,000

鎌倉市勤労者生活資金融資利用状況

	新規貸出(3.4~4.3)		貸出残高(4.3末現在)	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
生活資金	3	3,000,000	25	23,868,852

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○労働環境の充実

勤労者福祉支援事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 勤労者福祉
施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 湘南勤労者福祉サービスセンターの活動を支援するため。

効果 勤労者の福利厚生 of 充実

【 事業の内容 】

- ・ 中小企業勤労者の福利厚生 of 向上を目的として事業を行う湘南勤労者福祉サービスセンターへ負担金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,278	20,278	19,566		712

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 湘南勤労者福祉サービスセンター運営事業費負担金

20,278

19,566

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○労働環境の充実

技能振興事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 技能職者

意図 技能職者の技術水準の向上や、社会的地位の向上を図るため。

効果 技能振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・技能功労者等の表彰及び技能職団体連絡協議会の活動支援をすることにより、技能振興を図った。また、技能祭は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
430	430	127		303
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	技能者表彰選考委員会委員報酬 7人		30	21
8節	技能者表彰記念品等報償費		100	26
11節	消耗品費		30	9
19節	技能職団体連絡協議会補助金		270	71

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
市民防災部商工課(勤労者福祉担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	26,853	22,325
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 3人	12,909	11,391
・ 3節 職員手当等	9,668	7,146
扶養手当	136	0
地域手当	1,958	1,709
通勤手当	248	320
超過勤務手当	910	290
休日給	40	49
期末勤勉手当	6,078	4,778
住居手当	118	0
児童手当	180	0
・ 4節 共済費 市町村職員共済組合負担金	4,276	3,788

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
市民防災部商工課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	1,795	1,357
・ 1節 報酬 会計年度任用職員 会計年度事務補助職員 1人	1,096	1,096
・ 3節 職員手当等 期末手当	233	219
・ 4節 共済費	322	0
社会保険料	304	0
雇用保険料	18	0
・ 9節 旅費 費用弁償	144	42

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 5 農業委員会費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業委員会事務

【 農業委員会事務局 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農地法等に基づく農地問題の公正円滑な処理、農地の農業上の利用増進、農業経営の合理化を行うため。

効果 鎌倉市に適した都市農業を目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 農業委員会委員報酬の執行、遊休農地解消対策事業の実施など農業委員会に関する事務事業を行った。
- ・ 農地管理システムを運用し、市内農地について農地法に基づく適正な管理を行った。
- ・ 市町村や農地バンク等の関係機関との情報共有を促進するため、国庫補助によりタブレット端末を導入するための手続きを行った。なお、端末の納入が翌年度になることから、繰越明許費を設定した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,042	15,322	11,106	280	3,936
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	農業委員会委員報酬 13人		12,879	9,239
8節	収穫まつり入賞記念品		5	0
9節	農業委員費用弁償		43	0
	事務局職員普通旅費		65	10
11節	消耗品費		299	224
	タブレット購入事業(翌年度への繰越明許費)		0	0
	農機具等修繕料		100	0
13節	農地管理システム地図データ変換業務委託料		110	110
14節	農地管理システム使用料		1,431	1,431
19節	遊休農地解消対策協議会等負担金		110	92
<主な特定財源>				
	・国県支出金			4,257

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 10 農業水産業総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
 都市整備部農水課
 農業委員会事務局

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	72,689	69,650
・ 2節 給料 一般職	33,281	30,859
一般職職員 8人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	27,245	26,829
扶養手当	737	1,158
地域手当	5,252	4,950
通勤手当	752	768
超過勤務手当	1,432	2,548
休日給	0	132
管理職手当	987	987
期末勤勉手当	15,064	13,696
住居手当	2,703	2,210
管理職員特別勤務手当	18	0
児童手当	300	380
・ 4節 共済費	12,163	11,962
市町村職員共済組合負担金	11,671	11,465
社会保険料	464	469
雇用保険料	28	28

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 10 農業水産業総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
都市整備部農水課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	1,481	1,010
・ 1節 報酬 会計年度任用職員 会計年度事務補助職員 1人	848	842
・ 3節 職員手当等 期末手当	181	168
・ 4節 共済費	322	0
社会保険料	304	0
雇用保険料	18	0
・ 9節 旅費 費用弁償	130	0

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業振興運営事業

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農業施策上必要な協議調整や事業を行い、農業経営の安定と農産物の安定供給を図るため。

効果 農業経営の安定と農産物の安定供給

【 事業の内容 】

- ・さがみ農業協同組合に鎌倉ブランド事業や秋の収穫まつり事業などに係る補助金を交付し、農業の振興を図った。
- ・鎌倉市農業振興ビジョンに基づく、農業の担い手の確保、遊休農地の解消及び国の施策に基づく担い手の育成・支援のための制度の円滑な運用を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,948	4,948	3,174		1,774
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	鎌倉市農業委員選定委員会委員報酬		156	0
8節	手広川水路清掃作業等報償費		97	88
11節	消耗品費		151	45
13節	地産地消推進パンフレット作成委託料		98	98
19節	農業関係団体負担金		496	493
	農業振興事業費補助金		2,450	2,450
	新規就農者確保支援事業交付金		1,500	0

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

市民農園事業

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 市民

意図 市民が野菜及び草花の栽培を通じて自然と触れ合い、農業への親しみ及び理解を深める機会を提供するため。

効果 市民が農作業を行うことにより、農業への理解が得られるとともに、農地のレクリエーション機能の活用が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 大船地区市民農園について、引き続き維持管理を行った。
- ・ 土地所有者が開設する市民農園の相談や支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,167	1,167	1,166		1
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
8節	市民農園耕作指導報償費		504	504
13節	市民農園草刈等業務委託料		388	387
	市民農園区画整備業務委託料		275	275

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農道整備事業 【 農水課 】

※重点事業(事業CD:6-1-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農業生産基盤を整備し、生産性の向上、農業経営の安定化を図るため。

効果 生産性の向上、農業経営の安定化

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉農業振興地域整備計画に基づき、農道整備工事及び管理図面の作成を行った。
- ・ 令和3年度に予定していた農道整備箇所の一部地権者との手続きに時間を要し、必要な工期が確保できなくなることから、整備箇所の変更を行うとともに、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
83,653	83,653	20,293	63,069	291
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
13節 管理図面作成業務委託料			735	444
15節 農道整備工事請負費(翌年度への繰越明許費)			82,918	19,849
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				13,895
・ 地方債				5,300

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

水産業振興運営事業

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 水産関係団体との連携を図るとともに、栽培漁業の推進などにより、漁業経営の安定化を図り、地域に即した漁業の振興を図るため。

効果 つくり育てる漁業の推進を支援することにより、水産業の振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 漁業協同組合等への補助金の交付、各種水産関連団体への参加等により、水産業が有する多面的機能の保全及び水産業の振興を図った。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、漁業者・学識経験者等から組織する委員会における、鎌倉市水産業振興計画の推進に関する調査審議を見送った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,745	2,745	1,957		788
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	鎌倉市水産業振興計画推進委員会委員報酬		68	0
11節	消耗品費		77	21
19節	神奈川県水難救済会等負担金		300	300
	漁業施設等災害支援金		500	0
	鎌倉漁業協同組合事業費補助金		1,000	1,000
	腰越漁業協同組合事業費補助金		500	500
	水産多面的機能発揮対策事業補助金		300	136

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

漁港施設管理事業

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 腰越漁港施設の良好な維持管理を行うため。

効果 円滑な漁業活動の推進を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 漁港施設維持運営計画及び機能保全計画に基づき、漁港施設の維持管理を行った。
- ・ 腰越海岸の飛砂防止のための海浜整地業務など漁港区域内海岸の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,506	4,506	3,799		707
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	漁港施設等維持修繕料		636	239
	漁港施設案内板修繕料		59	58
	腰越漁港公衆トイレ修繕料		1,083	924
13節	腰越海岸海浜整地業務委託料		2,728	2,578

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工運営事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 商工業の振興、物産振興を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 商工事務事業に係る庶務的業務を行った。
- ・ コロナ禍の影響を受け、鎌倉市商工業振興計画の策定を見送り、姉妹都市物産展を中止した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
847	93	13		80
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	商工業振興計画推進委員会委員報酬		216	0
11節	消耗品費		93	13
13節	姉妹都市物産展設営等委託料		426	0
	姉妹都市物産展仮設電源設置等委託料		62	0
	姉妹都市物産展チラシ作成業務委託料		50	0

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

共生共創部地域共生課(消費生活担当)

市民防災部商工課(商工担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	58,620	52,313
・ 2節 給料 一般職	27,086	24,880
一般職職員 7人		
短時間勤務職員 2人		
・ 3節 職員手当等	22,070	18,358
扶養手当	633	545
地域手当	4,455	3,962
通勤手当	373	342
超過勤務手当	1,055	581
管理職手当	1,973	987
期末勤勉手当	12,069	10,457
住居手当	912	1,004
児童手当	600	480
・ 4節 共済費	9,464	9,075
市町村職員共済組合負担金	9,297	8,103
社会保険料	128	891
雇用保険料	39	81

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
共生共創部地域共生課
市民防災部商工課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	16,746	14,510
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	12,477	11,449
会計年度事務補助職員 2人		
統括消費生活相談員 2人		
消費生活相談員 5人		
・ 3節 職員手当等	2,723	2,255
期末手当		
・ 4節 共済費	322	21
社会保険料	304	0
雇用保険料	18	21
・ 9節 旅費	1,224	785
費用弁償		

中小企業支援事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 中小企業者等

意図 市内の中小企業者等の健全な発展及び振興を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 制度融資を利用した際に支払う信用保証料について、その一部を補助することにより、中小企業者等の負担軽減を図った。
- ・ 経営安定資金融資を利用した際に支払う利子について、その一部を補助することにより、中小企業者等の負担軽減を図った。
- ・ 市の制度融資を実行するための原資となる資金を金融機関へ預託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
311,400	312,270	312,268		2
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	信用保証料補助金		7,500	6,932
	経営安定資金融資利子補給金		3,900	5,336
21節	中小企業融資預託金		300,000	300,000
	預託先 4金融機関			
	融資件数 70件			
	融資金額 237,300千円			

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工会議所助成事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 市内の商工業の改善・発達を図ることを目的とした、商工会議所の運営と事業を支援するため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

・商工業の総合的な改善・発達と社会一般の福祉の増進を目的とする商工会議所の運営及び事業に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,667	14,667	14,314		353
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	商工会議所運営費補助金		6,935	6,935
	商工業振興事業等補助金		553	200
	中小企業経営支援事業補助金		7,179	7,179

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商店街振興事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 商店街団体

意図 商店街団体が行う各種事業に対して支援を行い、商店街の活性化を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市商店街連合会の組織強化と活性化を支援した。
- ・ 商店街団体の街路灯及び電飾アーチの電気料金の全額を助成した。
- ・ 商店街団体が実施する売上の増加が見込まれる事業、地域住民との交流が見込まれる事業等に要する経費の一部、又は全額を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,673	25,776	21,062		4,714
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
8節	商店街アドバイザー謝礼		200	0
19節	商店街連合会補助金		1,710	1,710
	商店街街路灯等維持管理費補助金		8,000	5,972
	商店街活性化事業費補助金		5,038	13,380
	商店街共同施設設置費補助金		3,725	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			12,298

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工業振興事業

【 商工課 】

※重点事業(事業CD:6-1-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 創業支援、新規に立地する企業に対する支援、市内における企業の設備投資及び中小企業者の経営革新に対する支援等を行い、商工業の振興を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・地域の資源を活用して創業する事業や新しい商品・技術の開発、サービスの提供を行う事業に要する経費の一部を助成した。
- ・鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会の活動として、テレワークに関する研究、情報発信等を行った。
- ・市内事業者が情報発信・交流することができるサイトを運営した。
- ・企業誘致活動の推進を図る協議会に加入し、情報の収集及び発信並びに関係機関との連携を図った。
- ・公益財団法人神奈川産業振興センターが実施する経営アドバイザー派遣事業の利用者が支払う費用の一部を助成した。
- ・市内事業者が実施する地域及び地球環境との共存・共生を図るための施設整備事業に要する経費の一部を助成した。
- ・中小企業者が実施する人材育成事業、産業財産権取得事業、展示会等出展事業などの経営基盤強化事業に要する経費の一部を助成した。
- ・企業が市内に立地する際に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,516	19,516	10,226		9,290
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	商工業元気アップ事業選定委員会委員報酬 2人		62	22
8節	商工業元気アップ事業フォローアップ診断謝礼		0	25
13節	企業情報発信・交流サイト運営委託料		803	803
19節	神奈川県企業誘致促進協議会負担金		41	41
	商工業元気アップ事業費補助金		2,000	2,000
	経営アドバイザー派遣事業補助金		110	104
	環境共生施設整備費補助金		3,000	1,400
	経営基盤強化事業費補助金		1,500	1,331
	企業立地整備費等補助金		12,000	4,500

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

公衆浴場助成事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 公衆浴場業者

意図 公衆浴場の健全な運営を支援し、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上に努めるため。

効果 公衆浴場業者を支援することにより、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上・増進に繋がり、
 更には地域におけるコミュニティの場の創出を図る。

【 事業の内容 】

・ 公衆浴場の設備の整備に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
500	689	289		400

<支出内訳>

19節 公衆浴場設備整備費補助金

当初予算額

500

支出済額

289

<主な特定財源>

・ 国県支出金

289

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

伝統鎌倉彫振興事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 伝統鎌倉彫事業協同組合

意図 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う各種事業を支援することにより、鎌倉彫産業の振興を図る。

効果 鎌倉で唯一「伝統的工芸品」として指定されている鎌倉彫の高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉彫振興事業所の維持管理を行った。
- ・ 伝統的工芸品産業の振興を図る団体に加入し、情報収集を図った。
- ・ 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う鎌倉彫創作展、小・中学生の体験教室等に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,132	4,132	3,895		237
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	鎌倉彫振興事業所光熱水費		500	381
	鎌倉彫振興事業所維持修繕料		300	183
12節	鎌倉彫振興事業所消防用設備保守点検手数料		24	24
13節	鎌倉彫振興事業所警備委託料		117	116
19節	伝統的工芸品産業振興協会負担金		50	50
	伝統鎌倉彫振興事業補助金		3,141	3,141

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 15 消費生活対策費

◎消費者対策 ○安心な消費生活の実現

消費者自立支援事業

【 地域共生課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 消費者対策
 施策の方針 安心な消費生活の実現

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 消費者被害を未然に防ぐなどの啓発を行うとともに、商品・サービスの購入に係る苦情を受けるため。

効果 消費者被害防止、食の安全などの情報を市民に向けて伝え、また消費者の苦情相談に対し、あっせん、助言、調停などを通じ被害の救済を図ることができる。

【 事業の内容 】

- ・ 消費者被害を未然に防ぐため、広報紙への掲載などによる啓発を行った。各種講座の開催は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施を見送った。
- ・ 消費生活相談員による消費生活に関する苦情相談、助言を行った。
- ・ 市民の日常生活の変化から消費者被害等を発見、早期の支援につなげる「くらし見守りネットワーク」を構築した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,296	1,296	795		501
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	消費生活委員会委員報酬		82	0
	消費生活紛争調停委員会委員報酬		30	0
8節	暮らしのニュース執筆謝礼		50	50
9節	消費生活相談員費用弁償		99	37
11節	消耗品費		72	22
	印刷製本費		150	100
	くらし見守りネットワーク取組ステッカー印刷製本費		0	177
	くらし見守りネットワーク取組チラシ印刷製本費		0	48
12節	電信料		40	40
13節	消費生活相談員助言委託料		297	297
	くらし見守りネットワーク取組ステッカー作成業務委託料		316	0
	くらし見守りネットワーク取組チラシ作成業務委託料		120	0
19節	消費生活相談員研修負担金		40	24
<主な特定財源>				
	・国県支出金			678

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 15 消費生活対策費

◎消費者対策 ○安心な消費生活の実現

エシカル消費推進事業	【 地域共生課 】
-------------------	-----------

※重点事業(事業CD:6-4-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 消費者対策
 施策の方針 安心な消費生活の実現

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 消費している商品やサービスの生産背景を知ることにより、人と社会、地球環境、地域のことを考慮した消費行動の理解促進に向け、エシカル消費の普及啓発を図るため。

効果 エシカル消費の理解を深めることにより、人と社会、地球環境、地域のことを考慮した消費行動ができる。

【 事業の内容 】

・ 鎌倉市エシカル消費推進アドバイザーからエシカル消費に係る取組について助言を受けた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,289	369	100		269
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
8節 講座講師等謝礼			250	100
11節 消耗品費			19	0
印刷製本費			100	0
13節 <u>エシカル事業者マップ(電子版)作成業務委託料</u>			920	0
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				50

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎観光 ○観光振興の推進

観光運営事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光基本計画の推進を図るとともに、他の自治体と連携し、広域的な観光振興を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 第3期鎌倉市観光基本計画の推進及び進行管理を行った。
- ・ 他の自治体・関係団体との連携により、パンフレットの作成等広域観光の情報発信や情報交換等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,919	1,919	1,715		204
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	鎌倉市観光基本計画推進委員会委員報酬 5人		150	24
11節	消耗品費		209	141
19節	三浦半島観光連絡協議会負担金		1,000	1,000
	神奈川県観光振興対策協議会等負担金		560	550

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

市民防災部観光課・大河ドラマ担当

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	97,394	90,315
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 11人	41,172	41,176
・ 3節 職員手当等	41,024	34,485
扶養手当	1,657	971
地域手当	6,739	6,635
通勤手当	992	1,016
超過勤務手当	6,547	2,929
休日給	183	118
管理職手当	2,088	2,088
期末勤勉手当	19,248	17,841
住居手当	2,490	2,334
管理職員特別勤務手当	0	13
児童手当	1,080	540
・ 4節 共済費	15,198	14,654
市町村職員共済組合負担金		

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
市民防災部観光課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	7,015	5,076
・ 1節 報酬 会計年度任用職員 会計年度事務補助職員 8人	5,059	4,040
・ 3節 職員手当等 期末手当	932	641
・ 4節 共済費	322	1
社会保険料	304	0
雇用保険料	18	1
・ 9節 旅費 費用弁償	702	394

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光振興の推進

観光振興事業

【 観光課 】

※重点事業(事業CD:6-2-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 多様な観光プログラムと最新の観光情報を提供するとともに、市民・事業者のホスピタリティの向上と観光客のモラルの向上を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・点字マップや外国語版パンフレットなど、観光マップの充実を図り、観光客への適切な情報提供を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,196	7,891	7,000		891
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節 消耗品費			425	0
印刷製本費			1,164	1,061
12節 運搬料			3	0
13節 観光マップ「鎌倉」作成業務委託料			990	737
外国語版パンフレット作成業務委託料			1,551	1,526
課外事業ガイド作成業務委託料			568	363
点字マップ作成委託料			3,000	2,998
19節 鎌倉観光公式ガイドコンテンツ充実事業等負担金			615	315
駅前ガイド事業負担金			2,880	0
<主な特定財源>				
・国県支出金				1,146

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光振興の推進

観光振興支援事業

【 観光課・大河ドラマ担当 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光事業者、観光団体、市民・市民団体等様々な観光主体が一体となり、地域全体で観光振興を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 俳句&ハイク事業に負担金を交付し、本市の観光振興の充実を図った。
- ・ 地元の関係団体等と連携し、大河ドラマを契機とした観光振興による地域の活性化や、短期集中的に発生する混雑への対策などに取り組んだ。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
324,262	323,333	230,190		93,143
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	俳句&ハイク事業負担金		486	486
	鎌倉ビーチフェスタ事業負担金		1,045	0
	大河ドラマ推進協議会負担金		322,731	229,589
22節	賠償金		0	115
<主な特定財源>				
	・国県支出金			36,051

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光振興の推進

観光協会支援事業

観光課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 鎌倉市観光協会・観光客等

意図 様々な観光主体のネットワークの中心となり、観光宣伝と観光客誘致を行う鎌倉市観光協会の支援を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉の観光に係る様々な情報を効果的に発信するため、観光ウェブサイトの運営を連携して行い、観光客の利便性の向上を図った。
- ・ 鎌倉市観光協会の運営に対する支援を行い、本市の観光振興の充実を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
49,934	49,720	46,389		3,331
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
19節	インターネットを活用した情報発信事業負担金		3,866	3,745
	鎌倉市観光協会運営費等補助金		46,068	42,644

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光基盤の整備・充実

観光案内所運営事業

観光課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光基盤の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光案内業務を通じて観光客の利便性向上を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

・ JR鎌倉駅東口の観光案内所の運営を委託し、観光客に対し適切な情報提供を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,715	23,814	22,676		1,138
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	維持修繕料	0	63	
12節	電信料	120	89	
13節	観光案内所業務委託料	21,491	20,347	
14節	観光案内所ブース賃借料	1,980	2,079	
	観光案内所デジタルサイネージ使用料	64	63	
19節	観光案内所電気使用料負担金	60	35	

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光基盤の整備・充実

観光施設整備事業

【 観光課 】

※重点事業(事業CD:6-2-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 観光
 施策の方針 観光基盤の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光基盤施設を整備し、観光客が安全で快適に観光できる受入環境の整備を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・観光客の誰もが安全で快適に観光できるように、観光案内板等の新設・改修・修繕や、公衆トイレの修繕、ハイキングコースの安全確保等観光客の受入環境の整備を行った。
- ・東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、更なる増加が予想される外国人観光客への対応として、屋外型Wi-Fi接続設備の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,873	27,124	17,950		9,174
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		91	70
	光熱水費		1,628	557
	公衆トイレ等維持修繕料		6,547	3,993
12節	電信料		845	845
	備品倉庫消防設備点検手数料		14	13
13節	ハイキングコース等観光施設整備業務委託料		1,078	1,069
	観光案内板等作成委託料		2,385	1,353
	屋外型Wi-Fi接続設備保守委託料		871	871
	公衆トイレし尿処理委託料		1,695	1,108
	極楽寺駅公衆トイレ清掃業務委託料		2,409	1,506
	天園ハイキングコース復旧業務委託料		6,950	4,290
	公共汚水ます設置業務委託料		1,749	0
	大船駅東口公衆トイレ部ペDESTリアンデッキ構造耐久調査業務委託料		0	495
14節	由比ガ浜大通り公衆トイレ賃借料		1,122	1,122
	屋外ライブカメラ等賃借料		239	239
19節	ハイキングコースパトロール事業等負担金		750	419
	屋内型Wi-Fi接続設備整備補助金		500	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			100

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 15 海水浴場費

◎観光 ○観光基盤の整備・充実

海水浴場運営事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光基盤の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 海水浴客等

意図 海水浴場の公衆衛生、危険防止及び秩序保持を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・海水浴場は開設しなかったものの、海岸利用者の安全確保に必要な施設・設備を整備した。
- ・なぎさの整地、監視業務等を実施し安全確保を図った。
- ・安心して快適な海岸利用を実現するため、警備員の配備や啓発看板の設置を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
118,741	84,225	82,543		1,682
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		266	15
	燃料費		14	0
	印刷製本費		106	0
	光熱水費		15	99
12節	電信料		142	83
13節	海水浴場監視業務等委託料		34,805	26,359
	砂防柵設置・撤去及びなぎさ整地業務委託料		6,688	4,708
	コースロープ設置及び撤去業務委託料		1,542	1,542
	仮設木橋設置等委託料		2,942	0
	海水浴場水道管敷設等委託料		732	2,124
	仮設木橋材料保管・運搬業務委託料		418	0
	看板作成委託料		504	0
	海水浴場開き式会場設営等委託料		166	0
	海水浴場関連廃棄物処理委託料		54	0
	海水浴場警備業務委託料		12,786	12,708
	海水浴場水質調査業務委託料		73	0
	ごみ箱設置業務委託料		638	495
	ごみ収集庫運搬・保管業務委託料		412	407
	海岸整地業務委託料		1,320	0
	バリアフリービーチ対応業務委託料		601	0
	電気設備等設置業務委託料		5,200	5,074
	ごみ資源化回収業務委託料		6,184	4,719
	ごみ収集・運搬業務委託料		22,711	5,774
14節	監視所・仮設トイレ等賃借料		18,810	18,436
	腰越海水浴場コインロッカー建物賃借料		1,132	0
19節	海水浴場監視業務用電気・水道使用料負担金		480	0

<主な特定財源>

・国県支出金

56,758

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎防災・安全 ○防災・減災対策の充実

がけ地対策事業

【 みどり公園課 】

※重点事業(事業CD:5-1-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 防災・減災対策の充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の保護を図るため。

効果 防災工事を施工し市民の保護を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 既成宅地におけるがけ崩れや土砂の流出等による災害の発生を防ぐため、防災工事費及び伐採工事費の一部を助成した。
- ・ 急傾斜地崩壊危険区域の指定の促進を図り、県が行う急傾斜地防災工事事業費の約2割を負担した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
112,449	225,526	181,509		44,017
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節 消耗品費			70	70
19節 急傾斜地防災工事負担金			78,100	124,893
神奈川県治水砂防協会等負担金			229	14
既成宅地等防災工事費補助金			34,000	56,532
既成宅地等防災工事費利子補給金			50	0
<主な特定財源>				
・地方債				113,300

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎防災・安全 ○危機管理対策

放射性物質測定事業

【 浄化センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 危機管理対策

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 放射性物質の測定を行い、市民生活の安全を図るため。

効果 給食食材等の放射性物質の測定を行うことにより、市民生活の安全を確保する。

【 事業の内容 】

・ 学校や保育園の給食食材等の放射性物質を測定した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,967	1,967	1,940		27

< 支出内訳 >

	当初予算額	支出済額
11節 放射性物質測定用消耗品費(液体窒素等)	570	552
放射性物質測定装置修繕料	1,034	1,025
13節 放射性物質測定装置点検委託料	363	363

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道(水)路調査事業

【 道水路調査課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な市民生活の基礎となる道路・水路整備を的確に行うための道路・水路の境界確定を行うほか、狭あい道路を拡幅整備することにより、防災・交通等都市機能の向上を図るため。

効果 道路・水路との境界が未確定の箇所をなくし、市内全域の道路・水路の管理区域を確定することでの的確な整備・管理を行うとともに、道路の後退用地を確保し、拡幅することで、安全で住みよいまちを実現する。

【 事業の内容 】

- ・境界確定申請に基づき現地調査を実施した。測量委託業者を選定し、土地所有者との立会を行い、境界の確定後、境界確定図を作成した。
- ・市道の狭あい道路拡幅整備事業の申請を受け、測量業務を行い、道路用地を取得した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
62,084	53,084	41,913		11,171
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		923	675
12節	横浜地方法務局資料閲覧等手数料		10	0
13節	境界確定等測量・調査業務委託料		40,700	30,497
	境界立会82回、打合せ協議11回、境界点測量452点 石標埋設15本、金属標埋設22枚 4級基準点測量(伐採なし)3,566m及び135点 同(伐採あり)92m及び0点、確定図作成86,822㎡外		10,450	5,962
	狭あい道路拡幅整備事業境界確定立会等業務委託料 境界立会10回、打合せ協議5回、境界点測量15点 石標埋設0本、金属標埋設0枚 4級基準点測量(伐採なし)163.2m及び16点 同(伐採あり)0m及び1点、確定図作成14,015.6㎡外			
17節	狭あい道路拡幅用地等購入費		10,000	4,778
	道水路用地購入費		1	1
<主な特定財源>				
	・国県支出金			2,670

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路台帳整備事業

【 道水路調査課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路法で調製及び保管が義務付けられている道路台帳の整備を行い、道路管理上の基礎的事項を総括して把握するため。

効果 良好な道路管理が可能となり、住民サービスの向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路状況の経年変化に伴う道路台帳の補正や認定路線網図の補正を行った。
- ・亡失や位置ずれ等が生じた既存境界点や基準点の復元等及び開発等における境界点の設置を行った。
- ・道路・水路等の境界確定図等を管理・交付するための土地境界確定図管理システムを運用した。
- ・境界復元や開発等の境界設置に使用する境界杭等を購入した。
- ・地籍調査事業(官民境界等先行調査)により、道路・水路等の官有地と民有地との境界確定を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
76,771	58,867	51,559		7,308
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		686	681
13節	境界杭復元等業務委託料		35,000	18,846
	4級基準点測量(伐採なし)2,787.6m及び144点 同(伐採あり)169.2m及び9点、石標埋設復元27本 金属標埋設復元43枚、金鋌埋設復元106本、 境界点復元測量214点、検査探索1,227点、境界点測量217点外			
	道路台帳補正及び認定路線網図作成等業務委託料		11,550	11,550
	土地境界確定図管理システム保守業務委託料		614	614
	座標変換システム導入支援委託料		198	0
	地籍調査事業測量等業務委託料		23,628	15,454
	基準点測量業務委託料		1,397	836
14節	土地境界確定図管理システム賃借料		3,698	3,578
<主な特定財源>				
	・国県支出金			11,418

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路施設管理事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路機能を良好に保持するため。

効果 多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るため、常に良好で円滑な道路機能の保持を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路利用者の安全性・快適性を保ち良好で円滑な道路機能を保持するための業務を行った。
- ・道水路許認可等を管理するための道路等占用管理システムを運用した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
134,648	134,648	118,665		15,983
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		579	556
	燃料費		1	0
	光熱水費		8,422	7,830
	道路管理施設維持修繕料		10,166	10,200
	内訳			
	大船駅西口A1及びA2号機エスカレーター電磁ブレーキ等 取替業務			7,348
	大船駅東口A1号機エレベーター冠水対応緊急修繕業務			2,473
	大船駅西口A1号機エスカレーター制御盤内リレー及び オートアナウンス取替修繕業務 外3件			379
12節	電信料		700	687
	路上放置自動車リサイクル料		15	0
	仮処分申立における手数料(印紙代)		0	2
	市道隣接崖地土地所有者に対する法面災害防除工事を求める 仮処分費用(予納金)		0	500
	道路賠償補償保険料		853	853
13節	鎌倉駅通り抜け地下道展示ケース等清掃業務委託料		79	73
	鎌倉駅西口広場周辺清掃業務委託料		203	202
	鎌倉駅道路管理施設清掃等業務委託料		850	700
	鎌倉駅通り抜け地下道排水ポンプディーゼルエンジン保守 点検業務委託料		109	109
	鎌倉駅通り抜け地下道制御盤装置保守点検及び水槽清掃 業務委託料		150	150
	大船駅道路管理施設清掃業務委託料		4,341	3,267
	大船駅管理施設警備監視業務委託料		18,271	15,528
	大船駅監視設備保守管理業務委託料		660	660
	大船駅エレベーター等保守管理業務委託料		9,449	9,449

	北鎌倉隧道の通行禁止に伴う歩行者誘導業務委託料	14,332	12,273
	道路維持業務委託料	10,194	8,981
	路上放置自動車処理業務委託料	10	0
	道路損傷等通報システム関連業務委託料	89	88
14節	大船駅西口ペDESTリアンデッキ用地賃借料	1,542	1,542
	大船駅西口公共広場用地賃借料	40,639	40,639
	道路占用等管理システム賃借料	9,856	895
	軽自動車賃借料	456	75
19節	大船駅西口エスカレーター本体及び制御装置電気料等負担金	682	629
22節	道路事故賠償金	2,000	2,777

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

街路照明灯事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活を送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 夜間等の通行車両や市民等の安全確保のため。

効果 道路の街路照明灯の良好な維持管理を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 既存の街路照明灯の維持修繕等を行い、市民が安全な生活を送れるまちづくりを図った。
- ・ 安全な通行を確保するために街路照明灯の設置整備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,504	43,504	37,323		6,181
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	市内街路照明灯電気料		16,870	15,286
	街路照明灯維持修繕料		4,690	10,073
13節	街路照明灯新設委託料		291	99
	街路照明灯柱点検業務委託料		10,000	7,296
14節	LED街路照明灯賃借料		4,653	4,569

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

総務部公的不動産活用課(公的不動産維持担当)
 都市景観部のうち都市調整課・開発審査課・建築指導課・みどり公園課(かけ地対策担当)
 都市整備部のうち都市整備総務課(都市整備総務担当)・道水路管理課・道水路調査課・
 作業センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	719,008	711,943
・ 2節 給料 一般職	332,013	328,498
一般職職員 85人		
短時間勤務職員 4人		
・ 3節 職員手当等	267,114	264,581
扶養手当	9,568	10,020
地域手当	53,020	52,559
通勤手当	9,462	8,904
超過勤務手当	15,890	20,004
休日給	15	392
管理職手当	11,864	11,864
特殊勤務手当	50	1
期末勤勉手当	147,762	142,400
住居手当	15,402	13,862
管理職員特別勤務手当	111	0
児童手当	3,970	4,575
・ 4節 共済費	119,881	118,864
市町村職員共済組合負担金	118,032	116,777
社会保険料	1,650	1,523
雇用保険料	199	564

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

総務部公的不動産活用課

都市景観部のうち都市調整課・建築指導課・みどり公園課

都市整備部のうち道水路管理課・道水路調査課・作業センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	53,377	47,538
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	36,913	35,613
会計年度事務補助職員 21人		
会計年度公共施設調査設計業務等補助員 3人		
開発等許認可指導員 1人		
危険ブロック塀指導等補助職員 2人		
・ 3節 職員手当等	7,847	6,976
期末手当		
・ 4節 共済費	4,161	3,480
社会保険料	3,939	3,298
雇用保険料	222	182
・ 9節 旅費	4,456	1,469
費用弁償		

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

設計事務

【 公的不動産活用課 】

※重点事業(事業CD:0-2-1-5)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方
分野 行財政運営
施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全・快適な施設利用の促進及び維持管理費用(ランニングコスト)削減を図るため。

効果 安全・快適な施設利用、経済的な施設管理及び建物の長寿命化を図る。

【 事業の内容 】

・ 建築積算システム機器の賃借及び保守を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,806	6,806	6,417		389
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	消耗品費	1,705	1,557	
	印刷製本費	82	81	
13節	外壁調査業務委託料(鎌倉生涯学習センター)	704	392	
	外壁調査業務委託料(御成町在宅福祉サービスセンター)	187	165	
	外壁調査業務委託料(御成町在宅福祉サービスセンター赤外線調査)	0	94	
14節	建築積算システム機器賃借料	2,496	2,496	
	営繕積算システム賃借料	1,632	1,632	

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

土木管理運営事務

【 都市整備総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方
分野 行財政運営
施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 部内各課

意図 事務事業の円滑な執行を行うため。

効果 事務事業の進行管理及び連絡調整を行うことにより、安全で快適な生活環境の整備を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 部内の一般会計に係る予算要求、執行管理、決算・監査に関する事項を行った。
- ・ 旅費及び郵便料の執行管理、工事の進行管理など部内の庶務を行った。
- ・ 道路施設の維持管理に必要なシステムの運用等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,020	9,020	8,985		35
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	一般文具等消耗品費		81	79
13節	道路施設維持管理共同システム台帳情報入力業務委託料		8,030	7,997
14節	道路施設維持管理共同システム使用料		909	909

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

作業センター事業 【 作業センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方
 分野 行財政運営
 施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の安全性、利便性、快適性への迅速な対応を確保するため。

効果 安全で円滑な交通の確保、親しみやすい河川・緑地等の形成を図る。

【 事業の内容 】

・道路、河川、緑地等の維持補修及び側溝、管水路の浚渫を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
153,603	153,603	106,537		47,066
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		2,515	2,510
	作業用車両燃料費		2,071	1,327
	光熱水費		134	88
	道路管理施設等維持修繕料		33,140	6,663
	電話機器等維持修繕料		598	367
	備品修繕料		500	184
	作業用車両修繕料		4,240	3,556
	医薬材料費		39	37
12節	電信料		908	561
	消防設備保守点検等手数料		22	20
13節	上町屋資材置場警備委託料		102	102
	残土処分委託料		4,838	2,974
	カーブミラー設置業務委託料		3,500	1,541
	高圧洗浄による排水管渠等浚渫清掃業務委託料		10,999	10,560
	道路側溝等浚渫汚泥運搬処分業務委託料		4,500	3,555
	道路・河川清掃等業務委託料		48,000	42,174
14節	維持補修用重機賃借料		5,087	2,965
16節	補修用原材料費		32,000	26,991
19節	法定講習負担金		8	7
22節	補填金		1	0
	賠償金		1	0
27節	自動車重量税		400	355
* 補修用原材料費内訳				
	アスファルト合材	346.5 t	8,032 千円	
	カーブミラー部材	110 面	5,823 千円	
	グレーチング蓋	202 枚	2,685 千円	
	スチール透水蓋	145 枚	3,261 千円	
	U型側溝蓋等	215 枚	696 千円	
	生コンクリート他	1 式	6,494 千円	

* 補修班による維持補修	アスファルト合材舗装工	276 m ²
	アスファルト舗装打換工	11 m ²
	パッチング	1,553 m ²
	カーブミラー新設・補修工	187 件

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎防災・安全 ○防災・減災対策の充実

建築相談事業

【 建築指導課 】

※重点事業(事業CD:5-1-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 防災・減災対策の充実

【 事業の目的 】

対象 昭和56年5月31日以前に建築された一戸建ての住宅・2世帯住宅・店舗併用住宅(いずれも在来工法で木造2階建て以下)・マンション等

意図 当該建築物等を所有する市民の安全を図るため。

効果 建築物等の安全性に対する市民の防災意識の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 窓口で耐震相談を受け、希望者に現地耐震診断を行い、診断費用を補助した。
- ・ 木造住宅の耐震改修工事を行った場合の費用を補助したが、防災ベッド等の費用の補助は、申請がなく実施できなかった。
- ・ 危険ブロック塀等の除却及び除却後にフェンスの設置を行った場合の費用を補助した。特に通学路を重点的に補助した。
- ・ 共同住宅等への耐震改修アドバイザーの派遣、マンションの耐震診断費用の補助、耐震改修促進計画に位置付けられた耐震診断義務路線に接する一定の高さ以上の建築物の耐震診断費用の補助及び耐震診断義務路線に接する一定の高さ以上の木造建築物を耐震改修及び除却した場合の費用の補助については、申請がなく実施できなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
75,770	29,271	22,109		7,162
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	耐震改修アドバイザー派遣事業謝礼		102	0
11節	消耗品費		106	49
	印刷製本費		33	0
13節	耐震相談業務委託料		355	292
19節	現地耐震診断補助金		3,685	938
	木造住宅耐震改修工事費等補助金		16,000	8,384
	危険ブロック塀等対策事業補助金		39,717	12,446
	マンション耐震診断補助金		1,500	0
	避難路沿道建築物耐震診断補助金		10,872	0
	避難路沿道木造建築物耐震化補助金		3,000	0
	防災ベッド等設置事業費補助金		400	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			13,345

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市調整運営事務

【 都市調整課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 計画的な土地利用によるまちづくりの推進のため。

効果 災害に強く、市民の福祉を高め、かつ環境保全に配慮した安全で快適なまちづくりの実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例等に関する業務を行った。
- ・ 開発事業等に係る公共施設管理者の同意及び協議に基づく協議書に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
468	468	230		238

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
9節 会計年度任用職員費用弁償	2	0
11節 消耗品費	461	225
19節 神奈川県九市開発許可研究協議会負担金	5	5

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

開発審査事務

【 開発審査課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 開発事業者等

意図 開発許可制度等を活用して、安全で住みやすい宅地の造成、秩序ある都市づくりを図るため。

効果 安全で快適な住環境の創造を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 都市計画法及び宅地造成等規制法による各種申請等の受付、審査、許可書の交付を行った。
- ・ 開発行為、宅地造成工事の完了検査及び検査済証の交付を行った。
- ・ 神奈川県開発審査会案件を付議した。
- ・ 開発許可等の違反に対する是正指導及び措置を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
318	318	313		5

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

11節 消耗品費	163	158
開発登録簿複写、カラーコピー等印刷製本費	155	155

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費
 ◎市街地整備 ○市街地整備の推進

建築指導事務

建築指導課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 建築確認申請者等

意図 建築物の安全の確保を図るため。

効果 安心して住める建築物の確保

【 事業の内容 】

- ・ 建築確認申請等に関する事務及び建築基準法に基づく許認可等に関する業務を行った。
- ・ 建築審査会に関する事務及び各種協議会等に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,237	9,237	6,729		2,508
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
1節	建築審査会委員報酬 3人		288	54
	建築審査会専門委員報酬 3人		128	32
9節	建築審査会委員等費用弁償		32	1
11節	消耗品費		422	338
	印刷製本費		33	33
12節	鎌倉市建築審査会等会議録作成業務筆耕翻訳料		220	40
	特定行政庁団体賠償責任保険保険料		50	50
13節	特殊建築物等定期報告業務委託料		6,223	4,696
	長期優良住宅及び低炭素建築物の認定に係る技術的審査業務委託料		264	41
14節	建築行政共用データベースシステム利用料		1,133	1,133
	公会堂等使用料		4	0
19節	神奈川建築コンクール負担金		105	0
	神奈川県建築物震後対策推進協議会負担金		156	156
	日本建築行政会議等負担金		179	155

建築基準法に基づく確認申請及び許可等申請状況

件名	件数
建築確認	22
計画通知	5
建築許可	73
道路位置指定	2
長期優良住宅認定	232
低炭素建築物認定	34

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路橋りょう管理運営事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

・土木総合情報管理システム保守及び機器等の管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,298	36,298	35,382		916
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		910	886
	印刷製本費		16	0
	備品修繕料		50	50
12節	電信料		302	86
	筆耕翻訳料		253	0
13節	土木総合情報管理システム保守委託料		8,063	8,063
	工事資材単価調査業務委託料		373	193
14節	土木総合情報管理システム機器賃借料		21,638	21,638
	市町村システム使用料		3,960	3,960
	電子複写機賃借料		733	506

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

まちづくり計画部都市計画課(交通安全担当)

都市整備部道路課(整備担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	122,751	121,997
・ 2節 給料 一般職	53,338	52,059
一般職職員 15人		
短時間勤務職員 2人		
・ 3節 職員手当等	50,347	50,768
扶養手当	2,288	2,362
地域手当	8,492	8,337
通勤手当	1,456	1,506
超過勤務手当	9,639	11,410
休日給	118	107
管理職手当	987	987
期末勤勉手当	23,719	22,304
住居手当	2,148	2,055
児童手当	1,500	1,700
・ 4節 共済費	19,066	19,170
市町村職員共済組合負担金	18,167	18,211
社会保険料	848	861
雇用保険料	51	98

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

まちづくり計画部都市計画課

都市整備部道路課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	12,063	9,445
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	8,657	7,177
会計年度事務補助職員 2人		
交通安全教育主任指導員 1人		
交通安全教育指導員 2人		
・ 3節 職員手当等	1,838	1,435
期末手当		
・ 4節 共済費	644	308
社会保険料	608	277
雇用保険料	36	31
・ 9節 旅費	924	525
費用弁償		

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○交通環境の整備

交通安全対策事業

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 交通環境の改善を図り、関係機関等との連携により、交通安全教育をはじめ各種交通安全対策を推進し交通事故による死傷者数の減少を図るため。

効果 交通事故及び死傷者の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市の交通安全を推進するため、市内交通関係機関及び団体相互の連絡を密にし、総合的・効果的な交通安全対策を推進し、交通事故防止を図るための各種事業を実施した。
- ・ スクールゾーンの交通安全対策として、カラー舗装等を実施した。
- ・ 富士見町駅下横断歩道に、通学時間帯に交通誘導員を配置した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,634	19,634	15,492		4,142
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	自転車教室指導員謝礼		512	408
9節	交通安全教育指導員費用弁償		9	0
11節	消耗品費		424	79
12節	交通安全教室損害保険料		19	13
13節	スクールゾーン対策業務委託料		6,500	6,354
	富士見町駅下交通誘導業務委託料		645	645
19節	鎌倉市交通安全対策協議会補助金		11,200	7,673
	鎌倉交通安全協会補助金		160	160
	大船交通安全協会補助金		160	160
22節	交通安全教室参加者賠償金		5	0

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○交通環境の整備

放置自転車防止事業

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 総合交通
 施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため。

効果 駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告や、警告後も移動しない放置自転車等の移動を委託した。
- ・ 歩行者の安全な通行を確保するため、自転車等を放置しづらい環境づくりを推進した。
- ・ 市が管理する駐輪場の巡回管理及び放置自転車等保管場所の管理を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
57,398	50,122	49,072		1,050
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	鎌倉市自転車等駐輪場指定管理者選定委員会委員報酬 5人		156	94
11節	消耗品費		22	8
	光熱水費		280	247
	放置自転車等保管場所等維持修繕料		409	409
12節	電信料		42	38
13節	放置自転車等対策関連設備設置等業務委託料		459	98
	放置自転車等防止対策業務委託料		46,455	39,179
14節	稲村ガ崎自転車等駐輪場土地使用料		355	177
	鎌倉駅西口第1自転車等駐輪場等土地使用料		2,187	2,187
16節	駐輪場修繕用原材料費		103	35
19節	(仮称)稲村ガ崎自転車等駐輪場整備事業負担金		6,930	6,600

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設維持事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

・道路ラインの補修等を行い交通事故防止を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,711	6,711	6,458		253
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
11節	ガードレール塗装等維持修繕料 延長109.3m		470	467
	カラー舗装等維持修繕料 (薄層カラー舗装面積56.0㎡)		1,741	1,492
13節	道路ライン等設置業務委託料 (区画線延長5,854.0m 文字記号延長1,896.99m)		4,500	4,499

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設整備事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・交通安全施設を改修し、安全で円滑な交通を確保するとともに、通学路の安全対策を実施した。
- ・市道031-000号線外の交通安全対策施設検討業務を行った。
- ・市道020-006号線外の安全対策施設(転落防止柵等)工事を行った。
- ・市道027-000号線の歩道整備工事を行った。
- ・市道025-080号線の歩道整備工事を行った。
- ・市道038-015号線、市道047-066号線の歩道段差等改善等については翌年度へ繰越した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
51,392	46,919	22,116	15,910	8,893
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
13節	交通安全対策施設検討業務委託料(市道031-000号線外)	4,763	3,731	
15節	交通安全対策施設工事請負費	29,777	5,006	
	内訳			
	梶原三丁目15番先外(市道046-000号線外)歩道段差等改善	6,248	0	
	浄明寺六丁目5番先(市道038-015号線)	10,021	0	
	歩道段差等改善(翌年度への繰越明許費)			
	津西一丁目28番先外(市道020-006号線外)	6,105	5,006	
	転落防止柵設置延長65.7m、二段手摺設置延長78.0m			
	梶原二丁目1番先(市道047-066号線)	7,403	0	
	植栽帯改良等(翌年度への繰越明許費)			
	交通安全施設整備工事請負費	16,852	13,379	
	内訳			
	常盤863番地先(市道027-000号線)	8,822	7,121	
	アスファルト舗装面積50.2㎡、排水構造物延長34.8m			
	笛田五丁目5番先(市道025-080号線)	8,030	6,258	
	アスファルト舗装面積64.2㎡、横断防止柵延長46.2m			
【主な特定財源】				
	・地方債			16,500

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 10 道路維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路維持補修事業

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、事故防止に努めた。
- ・土砂や倒木の撤去等を行い、通行の安全を確保した。
- ・大船駅東口ペDESTリアンデッキの長寿命化修繕計画を作成した。
- ・令和元年度、令和2年度に実施した路面下空洞調査結果を受け、空洞があった箇所の追跡調査を実施した。
- ・浄明寺一丁目7番先の道路斜面(史跡大町釈迦堂口に至る道路)の斜面崩落対策詳細設計業務を行った。
- ・鎌倉山一丁目28番先において斜面崩落対策詳細設計業務を行った。
- ・北鎌倉隧道安全対策検討業務及び北鎌倉隧道安全対策工事実施計画検討業務については、年度内に実施できなかったことから、翌年度へ繰越した。
- ・前年度からの繰越明許により、津西二丁目14番先において仮設落石防護柵を設置予定であったが、法面災害防除工事を実施することとなったため未実施となった。
- ・市道059-013号線、市道001-000号線、市道015-000号線、市道209-080号線、市道053-000号線、市道055-000号線の道路維持修繕工事を行った。
- ・市道032-000号線については工事が年度内に完了しなかったことから、翌年度へ繰越した。
- ・津西二丁目14番先において法面防除工事に着手したが、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越した。
- ・大船駅東口ペDESTリアンデッキにおいて前年度から繰越した修繕工事を完了した。
- ・小袋谷歩道橋において横断歩道橋修繕工事に着手し準備工を実施したが、一部が年度内に完了しなかったことから、翌年度へ繰越した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
392,085	620,831	329,607	178,056	113,168
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 道路維持修繕料			10,200	8,948
内訳				
大船一丁目4番先(市道209-081号線)(溶接補修)				1,859
山ノ内501番地先(市道434-043号線)(横断暗渠修繕)				2,310
坂ノ下13番先(市道101-001号線)(舗装修繕)				874
大町五丁目19番先(市道005-008号線)(道路法面修繕)				1,092
大船一丁目4番先(市道209-081号線)(排水施設修繕)				706
十二所114番先(市道204-013号線)(舗装修繕)				678
大船一丁目4番先(市道209-081号線)(排水施設修繕)外2件				1,429
13節 崩落土砂処分等業務委託料			12,200	13,894

内訳			
	佐助一丁目6番先(市道027-000号線)(樹木伐採)	143	
	長谷五丁目3番先(市道029-006号線)(土留柵設置等)	329	
	津西二丁目14番先(市道020-000号線)(土砂等撤去)	784	
	笛田六丁目16番先(市道203-035号線)(倒木処理等)	7,403	
	梶原五丁目6番先(市道046-059号線)(樹木伐採)	281	
	浄明寺一丁目7番先(市道035-013号線)(土砂等撤去)	1,705	
	梶原630番地先(市道044-000号線)(仮設防護柵設置)	1,265	
	腰越三丁目13番先(市道067-000号線)(路面下調査)	1,984	
	大船駅東口ペDESTリアンデッキ長寿命化修繕計画策定業務委託料	2,497	2,178
	路面下空洞追跡調査業務委託料	5,291	3,287
	斜面崩落対策詳細設計業務委託料	16,104	13,887
	北鎌倉隧道安全対策検討業務委託料(翌年度への繰越明許費)	18,590	0
	北鎌倉隧道安全対策工事実施計画検討業務委託料(翌年度への繰越明許費)	11,000	0
	仮設落石防護柵設置事業(前年度からの繰越明許費)	0	0
	斜面復旧設計業務	0	9,486
14節	工所用仮駐車場賃借料	450	900
15節	道路維持修繕工事請負費	291,354	258,302
内訳			
	大船一丁目10番先(市道059-013号線)	35,442	17,596
	舗装工 延長153.4m 面積552.5㎡		
	材木座三丁目15番先外(市道001-000号線)	19,657	14,707
	舗装工 延長293.3m 面積1,551.4㎡		
	七里ガ浜二丁目20番先(市道015-000号線)	38,192	32,033
	階段補修工 一式		
	小町一丁目1番先外(市道027-010号線外)タイル舗装、舗装打換	33,935	0
	小町一丁目5番先(市道032-000号線)遮熱性舗装	40,337	13,000
	(翌年度への繰越明許費)舗装工 延長588.2m 面積2,821.0㎡		
	台二丁目9番先(市道209-080号線)	11,715	9,144
	側溝蓋取替工 延長97.9m		
	玉縄四丁目1番先(市道053-000号線)	59,796	49,032
	防護柵工 延長134.0m		
	鎌倉山三丁目18番先外(市道055-000号線)	27,280	21,399
	舗装工 延長240.0m 面積1,216.3㎡		
	舗装打換・排水整備等要望箇所	25,000	0
	法面災害防除工事(翌年度への繰越明許費)	0	50,000
	法面工 面積1,640.0㎡		
	大船駅東口ペDESTリアンデッキ修繕工事(前年度からの繰越明許費)	0	51,391
19節	JR北鎌倉駅仮改札開設工事等負担金	22,631	15,672
	横断歩道橋維持修繕工事負担金(小袋谷歩道橋)(翌年度への繰越明許費)	1,768	3,053
【主な特定財源】			
	・国県支出金		8,707
	・地方債		170,600

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 15 道路新設改良費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路新設改良事業

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境及び生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・大規模住宅地等の道路改良整備工事を行った。
- ・舗装修繕計画対象路線(幹線道路等)について、路面性状調査を実施した。
- ・荏柄天神参道整備の設計業務を実施した。
- ・市道213-023号線、市道061-069号線外、市道040-000号線外の道路新設改良工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
89,166	85,542	59,308		26,234
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	路面性状調査業務委託料		13,783	5,144
	荏柄天神参道整備設計業務委託料		5,940	4,506
15節	大規模住宅地等道路改良整備工事請負費		69,443	49,658
	内訳			
	小袋谷二丁目22番先(市道213-023号線)		10,549	6,000
	舗装工 延長95.7m 面積383.4㎡			
	今泉台四丁目22番先外(市道061-069号線外)		29,040	24,044
	舗装工 延長474.3m 面積2,169.0㎡			
	手広四丁目18番先外(市道040-000号線外)		29,854	19,614
	舗装工 延長354.1m 面積1,985.4㎡			
【主な特定財源】				
	・国県支出金			2,687
	・地方債			46,000

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 20 橋りょう維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

橋りょう維持補修事業

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・劣化が著しい箇所の補修等を行い、安全な交通を確保した。
- ・橋りょうの機能保持のため点検調査を行った。
- ・古川橋外5橋の修繕工事に必要となる設計業務を行った。
- ・魚町橋、西泉水橋の修繕工事を行い安全な交通を確保した。
- ・新富岡橋の修繕工事は年度内に完了できないため翌年度へ繰越した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
161,143	161,143	86,976	51,454	22,713
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	橋りょう維持修繕料		1,500	1,298
	内訳			
	小町二丁目23番先(琴弾橋)			1,298
13節	橋りょう点検調査業務委託料		22,913	17,737
	橋りょう補修修繕設計業務委託料(古川橋外5橋)		21,780	12,522
15節	橋りょう維持修繕等工事請負費		114,950	55,419
	内訳			
	大町二丁目7番先(魚町橋)伸縮装置等補修		16,148	11,384
	浄明寺五丁目5番先(西泉水橋)高欄等補修		19,448	16,135
	台一丁目2番先(新富岡橋)橋面防水等補修 (翌年度への繰越明許費)		79,354	27,900
【主な特定財源】				
・国県支出金				22,550
・地方債				56,400

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎下水道・河川 ○河川の整備・管理

河川管理運営事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 下水道・河川
施策の方針 河川の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 河川維持管理協力団体等

意図 河川管理事業の円滑な推進を図るため。

効果 協力団体と連携し、良好な水辺環境を目指し、親しまれる川づくりを図る。

【 事業の内容 】

・河川の良い環境を維持するため、河川の清掃及び目視による生態系調査等を協力団体に依頼した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,488	1,488	1,454		34
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	河川維持管理協力団体報償費		240	225
11節	消耗品費		19	0
14節	浸水対策排水施設用地土地賃借料		1,229	1,229

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
都市整備部下水道河川課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	1,795	1,370
・ 1節 報酬 会計年度任用職員 会計年度事務補助職員 1人	1,096	1,096
・ 3節 職員手当等 期末手当	233	219
・ 4節 共済費	322	0
社会保険料	304	0
雇用保険料	18	0
・ 9節 旅費 費用弁償	144	55

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○河川の整備・管理

河川維持補修事業

【 下水道河川課 】

※重点事業(事業CD:5-6-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 河川の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るとともに、市民等に親しまれる河川づくりを進めるため。

効果 河川護岸の崩壊等を未然に防ぐことや、市民等に親しまれる河川づくりを目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 河川管理施設等の維持修繕工事を行った。
- ・ 準用河川の浚渫を行った。
- ・ 準用河川の除草、枝払いを行った。
- ・ 関係地権者との交渉が継続されていることで、分水事業用地の取得ができなかった。
- ・ 分水事業用地不動産鑑定評価業務を行った。
- ・ 準用河川砂押川に係る緊急復旧及び本復旧に係る設計業務を行った。
- ・ 家屋調査を行った。
- ・ 令和3年7月の大雨により護岸が崩壊した準用河川砂押川の本復旧事業については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・ 浸水被害解消に向け、雨水排水施設(準用河川小袋谷川)の維持修繕工事を行った。
- ・ 神奈川県河川協会へ参加し、その活動により治水及び治水事業の促進を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,827	131,765	56,101	71,509	4,155
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	河川管理施設等維持修繕料		4,890	21,846
13節	準用河川浚渫業務委託料		3,200	3,069
	準用河川除草・枝払い等業務委託料		4,500	2,614
	大塚川から新川への分水用地不動産鑑定評価業務委託料		110	44
	準用河川砂押川緊急復旧対策検討設計業務委託		0	8,910
	準用河川砂押川護岸復旧工事実施設計業務委託		0	7,821
	家屋損害事前調査業務委託		0	495
	準用河川砂押川本復旧事業(翌年度への繰越明許費)		0	0
15節	河川維持修繕工事請負費(準用河川小袋谷川)		0	11,175
	河川維持修繕工事請負費(普通河川滝ノ川)		15,000	0
	準用河川砂押川本復旧事業(翌年度への繰越明許費)		0	0
19節	神奈川県河川協会負担金		127	127
<主な特定財源>				
	・地方債			7,400

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○河川の整備・管理

雨水施設維持管理事業

【 下水道河川課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 河川の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。

効果 雨水調整池について、良好な状態を保持する。

【 事業の内容 】

- ・ 雨水調整池の浚渫を行った。
- ・ 監視カメラの設置を行った。
- ・ 河川の氾濫等により発生する浸水をシミュレーションにより想定し、洪水ハザードマップの基となる洪水浸水想定区域図を作成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
38,261	30,323	24,447		5,876
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		87	85
	印刷製本費		17	0
	雨水調整池管理施設維持修繕料		479	462
	備品修繕料		55	47
13節	雨水調整池浚渫業務委託料		2,640	2,013
	河川等監視カメラ・架台等据付業務委託料		750	836
	洪水浸水想定区域図作成業務委託料		32,600	19,730
14節	河川等監視カメラ・データ使用料		1,633	1,274

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑政運営事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 みどり
 施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画に沿った施策展開による計画を実現するため。

効果 緑の基本計画に基づき、種々の施策を展開し、緑豊かな都市環境の形成と市民の安全・快適な生活の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑の保全、創造等、緑政の重要事項に対して方向付けを行うため緑政審議会の開催等を行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、鎌倉市緑の基本計画改定版を策定した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,677	5,648	5,206		442
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
1節	緑政審議会委員報酬 9人		306	174
	緑化推進専門委員報酬 1人		408	408
	緑地維持管理相談専門委員報酬 1人		102	102
9節	緑地維持管理相談専門委員交通費		12	6
11節	消耗品費		54	53
	印刷製本費		613	310
13節	鎌倉市緑の基本計画改訂業務委託料(前年度からの繰越明許費)		0	3,971
19節	森林協会等負担金		182	182
<主な特定財源>				
	・国県支出金			1,300

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑化啓発事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画の周知を図り、市民と連携して緑の環境づくりを推進するため。

効果 緑地等の保全、管理活動を市民と連携して推進し、市域全体を緑豊かにすることにより、これまで確保してきた緑地や都市公園等の機能を高める。

【 事業の内容 】

- ・ 市民との連携による緑の環境づくりを推進するため、緑のレンジャー等の緑化啓発事業に関する業務を委託した。
- ・ 敷地が道路に接する部分を新たに緑化する者に補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,823	3,823	2,151		1,672
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
13節	緑化啓発に関する業務委託料		1,650	1,650
19節	まち並みのみどりの奨励事業補助金 (件数=8件 総延長80.43m)		933	501
	まち並みのみどりの奨励事業補助金(危険ブロック塀等対策事業分) (件数=0件)		1,240	0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑地保全事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 美観上優れた樹木・樹林・生け垣の指定や、秩序ある市街地形成に必要な樹林地に対し、所有者の同意を得て、緑地保全契約を締結して保全するため。

効果 貴重な歴史的遺産と融合した緑地や豊かな自然環境を保全する。

【 事業の内容 】

- ・ 緑の基本計画に沿って確保した緑地のうち、荒廃が進むおそれのある樹林地等を質的に向上させるための整備業務を委託した。
- ・ 保存樹木、樹林、生け垣の所有者を支援するため、奨励金を交付した。
- ・ 市街化区域にある緑地を保全するため、土地所有者と緑地保全契約を締結し奨励金を交付した。
- ・ 民有緑地を将来にわたり良好に保全するため、当該緑地の所有者等に対し維持管理に要した費用の一部を助成した。
- ・ 寄附金を緑地保全基金に積み立てた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
95,451	103,116	92,946		10,170
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	市民緑地愛護会報償費		45	45
13節	確保緑地の適正整備委託料		2,000	1,182
	緑政業務支援GIS保守業務委託料		198	198
	(仮称)市民の身近な森づくり事業委託料		3,000	322
19節	保存樹木奨励補助金		603	568
	61件 316本			
	保存樹林奨励補助金		12,615	11,911
	161件 2,256,811.92㎡			
	保存生け垣奨励補助金		820	709
	98件 8,630.51㎡			
	緑地保全契約奨励補助金		8,822	7,046
	104件 482,894.12㎡			
	民有緑地維持管理助成事業補助金		52,922	47,733
	79件 500,609㎡			
25節	緑地保全基金新規積立金		700	612
	緑地保全基金利子積立金		26	2
	緑地保全基金寄附等積立金		13,700	22,618

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

風致保存会助成事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 みどり
施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉の歴史的景観と豊かな自然環境を後世に伝えるために活動している(公財)鎌倉風致保存会の組織の充実を図り、自主的運営の強化を図るため。

効果 会員(市民等)と連携した緑の環境づくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉風致保存会を運営するための補助金を交付した。
- ・ 鎌倉市風致保存基金に積み立てた一般からの寄附金を鎌倉風致保存会へ寄附金として交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,582	24,582	22,028		2,554

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
19節 風致保存会運営費補助金	10,382	10,382
25節 風致保存基金寄附等積立金	8,100	5,823
26節 風致保存会寄附金	8,100	5,823

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

樹林維持管理事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 みどり
 施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 良好な状態の樹林地を保育しようとするため。

効果 樹木の健全な生育と生態系を含む豊かなみどり空間を市民に提供する。

【 事業の内容 】

- ・大町・材木座地区において、対象樹林地の枝払いや枯損木・倒木の処理、除間伐などの業務を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,741	13,741	11,053		2,688

<支出内訳>

13節 樹林維持管理委託料

当初予算額 支出済額

13,741 11,053

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

緑地維持管理事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 防災等に配慮しつつ、樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図るため。

効果 より適確な植生管理を行うことにより良質な樹林地の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。
- ・ 令和3年度に二階堂で倒木による停電が発生したため、市域のパトロールを実施し、危険木等の除去作業を行った。
- ・ 大雨等による災害を未然に防ぐため、落石防止網設置等の防災工事を行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、令和元年の台風による被害箇所の復旧作業を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
66,436	124,466	103,091		21,375
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			7	4
光熱水費			60	42
管理施設維持修繕料			500	177
12節 電信料			48	40
緑地に関する賠償補償保険等保険料			1,164	994
13節 緑地維持管理委託料			55,337	86,459
常盤山緑地警備委託料			102	102
緑地維持管理委託料(前年度からの繰越明許費)			0	8,030
15節 緑地維持管理工事請負費			9,218	7,243

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

緑地維持管理計画推進事業

みどり公園課

※重点事業(事業CD:3-1-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 予防保全型管理への転換と防災対策の視点による計画的な緑地の維持管理を図るため。

効果 市有緑地のライフサイクルコストの縮減と安全性の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。
- ・ 落石防護柵やフェンス等、緑地に設置された施設の更新、修繕を年次計画に基づき行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,901	7,901	4,520		3,381
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節 管理施設維持修繕料			4,901	2,153
13節 緑地維持管理委託料			3,000	2,367

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎都市景観 ○良好な都市景観の形成

都市景観形成事業

【 都市景観課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 都市景観
 施策の方針 良好な都市景観の形成

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 景観法の活用により、開発行為や建築行為等に対する景観誘導、市民・事業者への普及・啓発・支援、行政の先導的な都市景観形成事業の推進を図るため。

効果 古都としての風格を基調とし、地域の特性を生かした都市景観を守り、つくり、育てることにより、潤いと安らぎのある快適なまちづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 古都としての風格ある都市景観形成の推進に資するため、景観重要建築物等に対して助成を行った。
- ・ 景観計画、景観地区等による良好な景観の形成を推進した。
- ・ 鎌倉市屋外広告物条例を制定したほか、屋外広告物の適正な規制・誘導を行った。併せて、屋外広告物に関する普及啓発を行った。
- ・ 景観上重要な建造物等の保存活用を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31,393	26,393	21,857		4,536
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	景観審議会委員報酬 10人		306	328
8節	景観アドバイザー等報償費		102	102
11節	消耗品費		47	31
	印刷製本費		672	452
	旧村上邸各所修繕料		541	330
12節	筆耕翻訳料		134	112
	違反屋外広告物除却協力員ボランティア保険料		12	7
13節	違反屋外広告物運搬処分業務委託料		41	0
	庭園等管理(樹木管理)作業委託料(旧村上邸)		639	596
	景観重要建築物等指定プレート製作設置等委託料		501	451
	若宮大路・小町通り景観形成ガイドライン運用支援業務委託料		713	713
19節	景観重要建築物等助成金		3,000	2,954
25節	旧村上邸貸家料		1,914	1,914
	景観重要建造物等保全基金運用利子積立金		41	2
	景観重要建造物等保全基金寄附等積立金		22,730	13,865

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎都市景観 ○歴史的風土の保存

風致地区事務

【 都市景観課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 都市景観

施策の方針 歴史的風土の保存

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全を図るため。

効果 「鎌倉」の環境の維持

【 事業の内容 】

- ・ 風致地区内行為許可事務、近郊緑地特別保全地区内行為許可事務及び特別緑地保全地区内行為許可事務を行った。
- ・ 歴史的風土保存区域内行為届出受理事務及び近郊緑地保全区域内行為届出受理事務を行った。
- ・ 歴史的風土特別保全地区内行為許可申請書の神奈川県への経由事務及び同許可に関する調整を行った。
- ・ 古都保存法の啓発及び歴史的風土特別保全地区での行為許可、制限等について周知を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
302	302	242		60
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		53	44
	印刷製本費		115	99
	風致地区内標柱維持修繕料		99	99
19節	古都保存連絡協議会負担金		35	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			155

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

海浜保全事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 海浜の保全と活用を図るため。

効果 樹林地、河川、海浜を一体としたネットワークにおいて海浜の環境と景観の保全を図る。安全で快適に過ごせる空間づくりと海浜の活用を図る。

【 事業の内容 】

・海浜保全に係る業務、神奈川県・鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市サーフ90ライフセービング支援業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
464	464	422		42
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		30	1
	既存車止め等維持修繕料		154	151
12節	諸手続等手数料		5	0
13節	海岸の障害物処分等業務委託料		5	0
19節	サーフ90ライフセービング事業負担金		270	270

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

古都中心市街地整備事業

市街地整備課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 市街地整備
施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を再生・創造するため。

効果 鎌倉駅周辺地域を中心とする古都中心市街地のまちづくりについて、目標や課題を共有し、古都鎌倉の玄関口として多くの市民・来訪者が快適に共存できる魅力的な空間の創出に向けた検討を進める。

【 事業の内容 】

・鎌倉駅周辺地区の今後のまちづくりについて、関係者との意見交換を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
68	68	0		68

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

8節 技術アドバイザー謝礼

68

0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅周辺整備事業

【 市街地整備課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 市街地整備
施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想」に基づいて、大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部、大船駅西口などの各地区において、都市基盤施設や都市環境の整備を推進するため。

効果 「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想」に定めた地区の将来像の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部などの各地区のまちづくり基本方針等に基づき指導や助言等を行った。
- ・「砂押川桜保全再生計画」に基づく、住民主体の保全再生活動の支援を行った。
- ・大船駅東口第2地区市街地再開発事業区域内の下水道管未接続箇所における臭気問題の改善に向けた検討を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,109	1,109	1,013		96
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	技術アドバイザー等謝礼		24	24
9節	会計年度任用職員費用弁償		2	0
11節	消耗品費		281	190
	大船駅笠間口広場修繕料		0	797
12節	火災保険料		2	2
15節	大船駅笠間口広場整備工事請負費		800	0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅東口再開発事業特別会計繰出金 【 市街地整備課 】

【 事業の内容 】

・大船駅東口再開発事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,090	11,231	11,231		0

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
28節 繰出金		12,090	11,231

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

深沢地域整備事業

【 深沢地域整備課 】

※重点事業(事業CD:5-2-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため。

効果 全市的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 将来のまちづくりの指針となる「深沢地区まちづくりガイドライン」の策定に向けた検討を行った。
- ・ 土地地区画整理事業の専門家の支援を受け、権利者との合意形成を図るとともに、事業計画認可に向けた資料作成及び事業推進に伴う関係機関協議等を行った。
- ・ 土地地区画整理事業計画認可に向けた調整検討を行った。
- ・ 深沢地域整備事業用地の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
72,441	68,954	67,373		1,581
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
1節	深沢地区まちづくりガイドライン策定委員会委員報酬 8人		240	139
	深沢地区まちづくりガイドライン策定業務企画等提案審査会委員報酬 3人		64	64
8節	技術アドバイザー謝礼		170	17
9節	会計年度任用職員費用弁償		3	0
11節	消耗品費		417	416
	深沢地域整備事業用地維持修繕料		600	264
13節	深沢地区土地地区画整理事業支援業務委託料		23,463	23,375
	深沢地域整備事業用地管理業務委託料		2,794	2,035
	深沢地区まちづくりガイドライン策定業務委託料		29,865	29,205
	事業計画認可図書等作成関連業務委託料		14,355	11,528
19節	湘南地区整備連絡協議会負担金		100	0
	新駅設置協議会負担金		40	0
	慶應義塾大学SFC研究所xSDGコンソーシアム負担金		330	330

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市計画運営事務

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市全域の土地利用・まちなみ

意図 都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与するため。

効果 まちづくりの基本理念である「暮らしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」(鎌倉市都市マスタープランより)を目指す。

【 事業の内容 】

- ・都市計画に関する事項の調査・審議のため都市計画審議会を運営するとともに、都市計画の決定・変更等の手続を行った。
- ・都市計画関連情報の更新に伴う都市計画図等の修正・印刷を行い、活用・販売した。
- ・人口減少や少子高齢化社会に対応し、持続可能なまちづくりを実現するため、コンパクトシティ形成に向けた取組みの一環として、立地適正化計画を令和元年度から3か年で策定した。
- ・令和2年9月の改正都市再生特別措置法施行に伴い、立地適正化計画防災指針を作成した。
- ・都市計画業務支援システムを活用した。
- ・都市計画法第6条の規定に基づき、都市政策の企画立案及び都市計画の運用に資するため、都市計画基礎調査を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,942	37,942	32,560		5,382
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	都市計画審議会委員報酬 12人		528	438
11節	消耗品費		261	257
	印刷製本費		2,002	1,826
13節	都市計画業務支援システム保守業務委託料		671	671
	都市計画関連データ等修正業務委託料		847	847
	都市計画情報提供サービス運用委託料		264	264
	立地適正化計画策定業務委託料		9,031	9,031
	都市計画基礎調査業務委託料		16,621	13,297
	立地適正化計画防災指針作成業務委託料		7,282	5,544
14節	都市計画業務支援システム用機器賃借料		385	385
	説明会用会場使用料		40	0
19節	県都市計画実務担当者連絡協議会負担金		10	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			11,947

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○交通環境の整備

交通環境整備事業

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 総合交通
 施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・市内の交通実態を把握し交通対策上の基礎資料とするため、交通状況(渋滞・交通量)に関するデータを収集した。
- ・「パークアンドライド」及び「鎌倉フリー環境手形」について、関係事業者との調整を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,902	1,902	1,356		546

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
11節 消耗品費	805	757
印刷製本費	495	0
パークアンドライド案内看板維持修繕料	399	399
19節 三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟等負担金	203	200

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○交通環境の整備

交通体系整備事業

【 都市計画課 】

※重点事業(事業CD:5-3-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 総合交通
 施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 国の鎌倉エリア観光渋滞対策実験協議会と連携し、自動車利用の抑制策に関する検討や、(仮称)鎌倉ロードプライシングにおける技術的側面や法的側面の条件整理、補助制度の活用等に関する協議調整を行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、交通環境の改善を目指した短期的な取り組みについて、国等の関係機関と協議を行い、短期的な観光渋滞対策を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,065	34,111	21,063		13,048
< 支出内訳 >				
			当初予算額	支出済額
1節	交通計画検討委員会委員報酬		378	0
	交通計画検討委員会特別委員会委員報酬		230	0
8節	交通政策専門員等報償費		268	17
9節	交通計画検討委員会委員費用弁償		13	0
11節	消耗品費		73	0
	消耗品費(前年度からの繰越明許費)		0	300
	印刷製本費		1,000	0
	歩行者尊重道路整備等修繕料		500	0
13節	鎌倉市交通計画検討委員会及び歩行者尊重道路整備に係る			
	資料作成等業務委託料		3,140	0
	短期的観光渋滞対策関連調査業務委託料		10,000	2,046
	短期的観光渋滞対策関連調査業務委託料(前年度からの繰越明許費)		0	18,700
	交通需要管理検討業務委託料		6,900	0
	(仮称)鎌倉ロードプライシング関連調査業務委託料		10,000	0
	シンポジウム運営業務委託料		500	0
14節	シンポジウム会場等使用料		63	0
< 主な特定財源 >				
	・国県支出金			19,000

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○交通環境の整備

新交通システム等整備事業

【 都市計画課 】

※重点事業(事業CD:5-3-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 総合交通
 施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 次世代型のモビリティを見据え、高齢者、障害者、子どもなど交通弱者に配慮し、すべての人にとって快適な移動環境を創造する。

【 事業の内容 】

・交通不便地域等において、新たな交通システムの導入に向けて引き続き二階堂・浄明寺地区での有償運行による試験運行を目指し、地元町内会等と協議・調整を行ったが、本格運行出来る枠組みや運営主体・確実な体制が整わなかったことから、実証実験は実施しなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,577	6,297	72		6,225
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	(仮称)鎌倉市地域公共交通会議等委員報酬		310	0
8節	学識者等謝礼		85	0
9節	(仮称)鎌倉市地域公共交通会議等委員費用弁償		25	0
11節	消耗品費		82	72
	印刷製本費		500	0
	光熱水費		50	0
12節	保険料		220	0
13節	運行業務等委託料		5,000	0
14節	(仮称)鎌倉市地域公共交通会議等会場使用料		25	0
	車両賃借料		2,280	0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策運営事務

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画法、道路法等に基づき国県道の整備・改良を促進し、良好な道路交通機能等の向上を達成するため。

効果 交通渋滞の緩和、災害時を含む緊急活動の円滑化を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市計画道路腰越大船線(大船立体)関連事業に関する協議・調整を行った。
- ・国・県等が施工する都市計画道路等に関する協議・調整を行った。
- ・供用中の国・県道に関する住民要望に対応した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
74	74	28		46
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節 消耗品費				17 17
14節 会場使用料				3 0
19節 関東国道協会等負担金				54 11

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の促進を図るため。

効果 神奈川県及び市民等との連絡調整を行うことにより、都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の円滑な実施を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市計画道路腰越大船線(大船立体)関連事業や、国・県が施工する都市計画道路等の事務事業の円滑な執行を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23	23	23		0
<支出内訳>				当初予算額
11節 一般文具等消耗品費				23
				支出済額
				23

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路整備計画等運営事務

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び都市景観等の生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・神奈川県都市計画街路事業促進協議会に加入し、その活動により都市計画道路の整備の促進を図った。また、無電柱化を推進する市区町村長の会に加入し、政府・民間等との連携・協力を図り、より一層の推進を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
48	48	28		20
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
19節	神奈川県都市計画街路事業促進協議会負担金			45 27
	無電柱化を推進する市区町村長の会負担金			3 1

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

街路樹維持管理事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 街路樹の適度な生育等を促し、緑豊かな道路空間の形成とまち並みを整え、市民との協働により適切な管理を行うため。

効果 まち並みを整えるとともに潤いある道路空間を提供し、公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・街路樹を市民自らが守り育てる活動を行っている街路樹愛護会を支援するため、報償金の支給を行った。
- ・街路樹の維持管理を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,961	26,961	21,863		5,098
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	街路樹愛護会報償費		1,350	1,033
13節	大船駅東口花壇維持管理委託料		1,045	1,045
	街路樹維持管理委託料		24,266	19,485
19節	協働事業負担金		300	300

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

環境部環境保全課(環境保全担当)

まちづくり計画部のうち市街地整備課(市街地整備担当)・深沢地域整備課・

都市計画課(交通安全担当を除く)

都市景観部のうち都市景観課・みどり公園課(がけ地対策担当を除く)

都市整備部道路課(国県道対策担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	482,005	458,515
・ 2節 給料 一般職	217,050	205,157
一般職職員 58人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	184,849	177,437
扶養手当	7,164	5,817
地域手当	34,904	32,914
通勤手当	5,893	6,056
超過勤務手当	14,560	23,150
休日給	149	606
管理職手当	8,456	8,456
期末勤勉手当	98,304	88,298
住居手当	11,213	9,033
管理職員特別勤務手当	126	327
児童手当	4,080	2,780
・ 4節 共済費	80,106	75,921
市町村職員共済組合負担金	79,903	75,446
社会保険料	128	369
雇用保険料	75	106

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 15 公共下水道費

◎下水道・河川 ○下水道の整備・管理

下水道事業会計繰出金

【 都市整備総務課 】

【 事業の内容 】

・下水道事業会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,822,798	2,823,037	2,822,743		294

<支出内訳>

28節 繰出金

当初予算額 支出済額

2,822,798 2,822,743

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

公園維持管理事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な維持管理を図るため。

効果 適確な施設管理を行うことにより良質な公園の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 樹木剪定、草刈、小規模な修繕など良好な公園の維持管理を図るための業務を指定管理者に委託した。
- ・ 公園施設長寿命化計画により、計画的な補修更新等の維持管理を実施するとともに、地域の特性や市民ニーズに対応した公園の創造を図った。
- ・ 都市公園行政に関する最新の動向等について、情報収集や他自治体との意見交換、国県に対する要望活動等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
367,310	367,310	355,657		11,653
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		393	272
	維持修繕料		29,628	25,554
12節	ボランティア保険料		16	16
13節	都市公園(笛田公園及び鎌倉広町緑地を除く)指定管理料		215,557	215,557
	都市公園(笛田公園)指定管理料		24,625	24,625
	鎌倉広町緑地指定管理料		27,600	27,600
	児童遊園等管理委託料		9,862	9,795
	公園維持管理委託料(公園施設長寿命化計画分)		6,864	0
	公園維持管理委託料		6,622	12,842
	鎌倉海浜公園稲村ガ崎地区広場護岸補修設計業務委託料		6,556	5,203
	東勝寺橋ひぐらし公園復旧設計業務委託料		9,064	7,480
	鎌倉海浜公園坂ノ下地区レストハウス耐震診断等業務委託料		3,817	1,421
14節	源氏山公園用地賃借料		1,000	1,000
	児童遊園土地賃借料		13,021	13,028
	笛田公園用地、緩衝緑地土地賃借料		4,800	4,800
	梶原六本松公園土地賃借料		3,594	3,584
15節	西田幾多郎博士歌碑設置工事請負費		4,191	2,345
19節	日本公園緑地協会等負担金		100	92
	都市公園指定管理業務負担金		0	443

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

公園整備事業

みどり公園課

※重点事業(事業CD:3-1-2-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 山崎・台峯緑地等の供用開始に向けて、樹林管理等を行った。
- ・ 山崎・台峯緑地(風致公園)の供用開始に向けて、整備工事を行ったが、年度内に完了できなかったため、令和4年度へ繰越しを行った。
- ・ 山ノ内宮下小路緑地の供用開始に向けて整備工事を行い、約0.31haを供用開始した。
- ・ 鎌倉中央公園の供用区域を約23.7haから約24.6haに拡大した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
94,429	94,429	52,461	23,485	18,483
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	消耗品費	765	24	
	光熱水費	681	232	
12節	電信料	244	0	
	ボランティア活動保険料	10	0	
13節	都市公園等整備事業用地維持管理等業務委託料	7,699	7,463	
	(仮称)山崎・台峯緑地管理事務所警備委託料	260	203	
	(仮称)山崎・台峯緑地(風致公園)管理業務委託料	13,701	13,701	
15節	(仮称)山崎・台峯緑地(風致公園)整備(土木)工事請負費(翌年度への事故繰越)	55,418	15,400	
	山ノ内宮下小路緑地整備工事請負費	9,476	9,263	
19節	水道加入金	264	264	
	岩瀬下関防災公園用地費管理者負担金一般財源相当額償還	5,911	5,911	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			4,100
	・地方債			14,900

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

公園用地取得事業

【 みどり公園課 】

※重点事業(事業CD:3-1-2-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

・ 山崎・台峯緑地(都市緑地)用地を取得し、早期開園に向け準備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
108,424	108,424	104,744		3,680

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

11節 消耗品費	110	73
印刷製本費	200	111
13節 (仮称)山崎・台峯緑地用地(都市緑地)不動産鑑定評価等 業務委託料	1,567	488
公共嘱託登記業務委託料	2,038	1,856
17節 (仮称)山崎・台峯緑地(都市緑地)用地購入費	104,509	102,216

<主な特定財源>

・国県支出金	34,000
・地方債	61,200

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○住環境の整備

市営住宅管理運営事業

【 都市整備総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 住宅・住環境
 施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 住宅に困窮している市民及び市営住宅入居者

意図 市営住宅の入居者選考を行うとともに、市営住宅建物の修繕等により適正な管理・運営を行うため。

効果 市営住宅入居の公平性及び入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【 事業の内容 】

- ・市営住宅の運営に係る事務を行った。
- ・市営住宅の指定管理者による維持管理を行った。
- ・借上住宅の賃借料の支払いを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
145,517	145,532	144,484		1,048
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	市営住宅入居者選考委員会委員報酬		104	0
11節	消耗品費		69	69
	印刷製本費		18	33
	市営住宅各種修繕料		3,080	2,891
	内訳			
	市営諏訪ヶ谷ハイツ空き家修繕料			509
	福祉型借上住宅レーベンスガルテン山崎空き家修繕料その1			1,357
	福祉型借上住宅レーベンスガルテン山崎空き家修繕料その2			500
	福祉型借上住宅笹田ロイヤルハイツ空き家修繕料			525
13節	公営住宅管理システム保守点検業務委託料		743	742
	市営住宅等指定管理料		46,712	46,695
	福祉型借上住宅建物不動産鑑定評価業務委託料		275	374
	市営住宅高所低木等剪定業務委託料		605	0
	公営住宅管理システム改修業務委託料		385	385
14節	公営住宅管理システム用機器等賃借料		699	699
	福祉型借上市営住宅賃借料		90,904	90,904
19節	神奈川県公共住宅供給推進協議会負担金		2	2
	市営住宅管理費等負担金		1,920	1,690
22節	過少収納時補填金		1	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			18,378

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○住環境の整備

住宅政策推進事業

【 都市整備総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 住宅・住環境
 施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 若年ファミリー層の転入促進と転出抑制、高齢者・障害者等が暮らし続けることができる住宅施策を推進し、安心して住むことができる環境を整える。

効果 人口の年齢構成バランスに配慮した住まいづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・若年ファミリー層転入促進等の施策の推進及び住宅マスタープランに掲げる住宅施策の展開を図った。
- ・高齢者、障害者及び子育て世帯の民間賃貸住宅への入居等の居住支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
291	291	290		1
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
13節 居住支援業務委託料				291 290
<主な特定財源>				
・国県支出金				130

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○住環境の整備

空き家等対策推進事業

【 都市整備総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 空き家等対策を総合的かつ計画的に実施するため。

効果 適切な管理が行われていない空き家等に関する施策を推進し、市民の生活環境の保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 市民等から寄せられる空き家等に関する相談に対応した。
- ・ 鎌倉市空家等対策計画に基づき、具体的な施策の構築を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,273	1,258	953		305
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	空家等対策協議会委員報酬		224	0
11節	消耗品費		66	46
	印刷製本費		323	247
14節	空き家管理システム使用料		660	660

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○住環境の整備

市営住宅集約化事業

【 都市整備総務課 】

※重点事業(事業CD:5-5-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 住宅・住環境
施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公共施設再編計画に基づき、老朽化した市営住宅の集約・建替えを行うため。

効果 市営住宅入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【 事業の内容 】

- ・老朽化した市営住宅の集約化を行うため、課題の整理・検討を行った。
- ・PFI等民間活力の活用を前提とした事業者の選定を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,532	9,532	7,401		2,131
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	市営住宅集約化事業事業者選定委員会委員報酬 4人		208	158
11節	消耗品費		40	38
13節	市営住宅集約化事業アドバイザー業務委託料		8,228	7,205
22節	市営住宅入居者移転補償金		1,056	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			3,242

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
都市整備部都市整備総務課(住宅担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	33,526	31,494
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 5人	16,058	15,323
・ 3節 職員手当等	11,961	10,863
扶養手当	136	361
地域手当	2,429	2,353
通勤手当	181	269
超過勤務手当	718	642
休日給	0	44
期末勤勉手当	7,258	5,979
住居手当	1,119	965
児童手当	120	250
・ 4節 共済費 市町村職員共済組合負担金	5,507	5,308